

(別紙1)

## 事業報告書

事業名	①第30期レクリエーション・インストラクター養成講座 ②オンライン事業
趣旨・目的	①「健康づくりと生きる喜びづくり」を支援する 公益財団法人 日本レクリエーション協会公認 レクリエーション・インストラクターを養成することを目的とする。子どもから高齢者などあらゆる場面において、県民に多種多様なレクリエーション支援活動ができる人材を養成する。 ②新型コロナウイルス感染症の影響が長期化、未だ収束しない状況であり対面での事業や講習会、交流会の実施が難しいため、安心して参加可能なオンライン事業を計画・開催する。
事業実施の地域及び対象者	県民・近隣県民
事業内容	①公益財団法人日本レクリエーション協会公認資格レクリエーション・インストラクター養成カリキュラムに準じた理論と実技を含む合計60時間の講座。従来全対面式講座で開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面講座を減らし、オンライン講座も導入にて実施。全講座を受講すると、レクリエーション・インストラクター資格取得に必要なカリキュラムが全て履修できる内容で、希望者は資格取得も可能。様々な場面で対象者を支援するためのレクリエーション財を幅広く体験するとともに、その指導(支援)技術を学ぶことができる。 ②レクリエーションの普及・レクリエーション有資格者のスキルアップを計るため、オンラインを活用した事業や講習会、交流会、勉強会等の開催にむけた打ち合わせ・検討会議を実施。
事業実施期日	①自 令和3年11月13日 至 令和4年 3月31日 第1回：令和3年11月13日(土) 第2回：令和3年12月11日(土) 第3回：令和4年 1月 8日(土) 全6回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により県内でのまん延防止等重点措置の実施に伴い、第4回～第6回はやむなく中止、まん延防止等重点措置解除後の日程へ開催延期となった。 ②自 令和3年 4月 1日 至 令和4年 3月31日
事業実施の果効	①講座を通してレクリエーションの認知度を広めレク・インストラクター資格へのつながりに寄与することができた。 近県からの参加もあり、福祉レクリエーションと生涯スポーツの普及振興を図ることが出来た。 ②コロナ禍のため対面での参加に不安があるとの声をいただき、非対面・オンラインでの講座やイベントを開催出来るよう、計画・検討した。 コロナ拡大の影響により今年度実施出来なかったものは次年度開催に向け引き続き検討する。
備考	残額の87,156円は来年度への繰越しを希望。

(別紙2)

## 収支精算書

①第30期レクリエーション・インストラクター養成講座②オンライン事業

(単位：円)

## 【収入】

項目	金額	説明
補助金交付金額	112,844	
自己資金	187,000	①+②+③+④
①参加料収入		
②会費等		
③寄附金等		
④その他	187,000	(公財)日本レクリエーション協会より受講人数に応じて受講料より一部補
助成金等収入	20,707	①+②+③+④
①補助金収入		
②委託金収入		
③その他		
その他資金収入	13,776	新型コロナ影響による会場キャンセル料還付金(支払済分6割)
預り金	6,931	謝金源泉税
合計	320,551	

## 【支出】

項目	金額	説明(使途、積算根拠等)	領収書番号
報償費	67,931	養成講座講師スタッフ謝金 67,931	A-①～⑩
旅費・交通費	6,800	講師・スタッフ駐車場代(回数券) 6,800	B-①～②
消耗品費・材料費	133,805	新型コロナ感染拡大防止対策備品 133,805 講座用備品	C-①～⑳ ㊦C-①
通信運搬費	60,124	郵便・配送料 60,124	D-①～㉕ ㊦D-①～⑥
使用料及び賃借料	41,580	会場使用料 41,580	E-①～⑩
保険料	2,280	事業イベント傷害保険料 2,280	F-①
雑費	8,031	振込手数料 1,100 謝金源泉税 6,931	G-①～⑮
合計	320,551	領収書枚数	100枚

## ■注意事項

- ・交付決定を受けた事業の収支について記入してください。
- ・精算書作成にあたって、貴団体が必要としない項目は削除してください。
- ・領収書の写しを添付してください。(原則、領収書は項目ごと、日付順に整理して添付してください)